年間授業計画　新様式例

立川　　高等学校 令和５年度（１・２学年用）　　教科　芸術　科目　書道

教　科：　芸術　　科　目：　書道　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　B　組

教科担当者：　（A組：　浅野　）　（B組：　浅野　）

使用教科書：　（　光村　書Ⅰ　）

教科　芸術　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　生活や社会の中の文字や書，書の伝統 と文化と幅広く関わる資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】　表現領域においては，題材としての言葉を紡ぎ出したり選 定したりする場面，作品を構想し表現を工夫する場面，また鑑賞領域では，作品につ いて根拠をもって批評する場面などで言語活動の充実

【学びに向かう力、人間性等】　書の文化の継承と創造への関心を一層高めるために， 書の文化に関する学習の充実を図るとともに，豊かな情操を養い，感性や想像力を働かせながら考えたり判断したりするなどの資質・能力の育成

科目　書道　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活や社会の中の文字や書，書の伝統 と文化と幅広く関わる資質・能力	表現領域においては，題材としての言葉を紡ぎ出したり選 定したりする場面，作品を構想し表現を工夫する場面，また鑑賞領域では，作品につ いて根拠をもって批評する場面などで言語活動の充実	書の文化の継承と創造への関心を一層高めるために，書の文化に関する学習の充実を図るとともに，豊かな情操を養い，感性や想像力を働 かせながら考えたり判断したりするなどの資質・能力の育成

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	単元名　書写から書道へ　楷書 【知識及び技能】漢字には五つの書体があることを理解し、 それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】　漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習に取り組む 【学びに向かう力、人間性等】書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を育てる	・指導事項　　楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について指導する ・教材　プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】］楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】　楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】］主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
２学期	単元名　行書　漢字仮名交じり文 【知識及び技能】行書の成立過程や通行書体としての性質を再確認し、行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続・省略などの特徴を理解する 【思考力、判断力、表現力等】・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項　行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成につい ・教材　プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
３学期	単元名　仮名 【知識及び技能】漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の種類を理解する 【思考力、判断力、表現力等】仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う	・指導事項　仮名の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成につい ・教材　プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【思考・判断・表現】　仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質、字形を生かした表現をするための技能を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
							合計 73